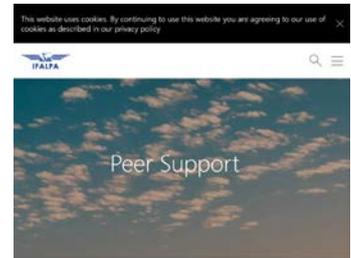




「日乗連パイロットアシスタンス」がスタートします

パイロットサポートの制度は、アメリカでは9.11同時多発テロ事件を背景に、ヨーロッパではジャーマンウイングスの事故をきっかけに、発展してきました。日本においても国土交通省や関係機関で研究が開始されており、日乗連は44期にパイロットアシスタンス（PA）準備委員会を設立し、必要な準備をしてきました。（関連ニュース [44-16](#)、[44-26](#)）



Pilot Assistance is an overarching term given to a basket of peer support programs in which peers are trained as volunteers to support their fellow pilots, offering referral to professional resources when appropriate, while upholding confidentiality protocols.



Pilot Assistance Manual

This manual has been generated by pilot experts with many years' experience with pilot assistance programs from across the globe. It provides guidance and best practices for establishing and enhancing such programs.

国内でもパイロットサポート制度を開始している組合がありますが、日乗連では制度構築が難しい組合に所属している組合員向けとして、「日乗連パイロットアシスタンス」と称し、2022年2月を目標にパイロットサポート制度を開始する予定です。

開始に向けて、PSV（ピアサポートボランティア）講習を2022年1月22日（土）、29日（土）の2日間で開催します。

「日乗連パイロットアシスタンス PSV の募集」

可能な限り各単組1名以上で、自薦、他薦は問いません。ご希望の方は、日乗連事務局、もしくは下記PA準備委員会事務局メールアドレスまでご連絡下さい。

日乗連 PA 準備委員会事務局 : pilotassistance@alpajapan.org

「日乗連パイロットアシスタンス概要」

- 目的：** 心理面で困難を抱えている、その可能性のある日乗連加盟組合員に対して、乗員として仲間である PSV がサポートすることにより（ピアサポートと言う）、メンタルヘルス不調の予防を図る。
- 事務局：** パイロットアシスタンス事務局（今後設立予定）は、PSV、コーディネーター、MHP（メンタルヘルスプロフェッショナル）、事務局長から構成され、守秘義務を厳守した上で、定期的に事務局会議を開催します。
- 扱う項目：** メディカル、薬物/アルコール問題、訓練問題、Professional Standards、Pilot Wellbeing の5つの項目
- その他：** PSV はボランティアでの活動（必要経費は日乗連負担）を原則とします。相談者との傾聴という作業を通して、ストレスの緩和を目標とします。また、クリティカルインシデント事例は、CISM 事務局（詳細は [日乗連 HP 参照](#)）が取り扱います。

以上